

新春白部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

市民サービス充実の財源はある

9月議会 一般会計決算質疑

9月定例市議会本会議で、うづき武彦議員は、令和7年度一般会計決算について、財政状況などを質疑しました。

納税者の平均所得は

338万円

歳入総額は、1059億7574万円、歳出総額は、1031億6965万円で、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支（繰越金）は、25億307万円の黒字でした。

市の借金である市債残高は

792億7004万円で、そのうち国が返済する額を差し引いた実質的な借金は、約333億円で前年より57億円増となっています。また、基金残高（貯金）は、一般会計分だけで75億2838万円で、そのうち財政調整基金は38億2835万円で前年よりも11億4367万円増となりました。

市税収入は311億5566万円です。そのうち、個人市民税額は137億6921万円です。納税義務者の平均所得は338万円で、県内63自治体中36位で

県平均は381万円です。国から交付される普通交付税は134億8731万円で、県内で政令市を除いて1番目に多い額です。春日部市は、税収が少ないですが、それを補う地方交付税が多く、財政はひっ迫してはいません。

大きな事業を進めてきたために、市債残高は増加傾向にあるものの、財政指標からみても財政は健全です。うづき議員は、「繰越金25億円や基金残高75億円など、市民サービス充実のための財源はある」と指摘しました。

女性管理職は12%

で県内33番目

職員一人当たりの市民数は255人で、県内2番目に多くなっています。（職員数が少ない）

課長補佐級以上の管理職に占める女性の割合は、12・0%で、県内では33番目という低さです。

救急通報1万5千件

消防職員が不足

消防職員数は、288人で条例定数298人、国基準369人に対して、不足しています。救急出動件数は、1万5133件で5年前（令和2年度）の1万1315件と比べ大幅に増えています。職員の増員が必要です。

ふるさと納税は、市内で製造されている粉ミルクを返礼品に加えたことなどから前年度比5519万円増の1億6568万円となりました。春日部市民が他市にふるさと納税したことによる市税の減収分は約6・2億円です。

前号の下段、〈生活相談は日本共産党へ〉に誤りがありました。お詫び申し上げます。



2026 平和をねがう原爆展

*高校生が描いた原爆の絵展

*原爆の実相を知るイベント

8月20日～25日、ぽぽら4階で「広島の高校生が被爆者から話を聞き取り描いた原爆の絵」が展示され、多くの高校生や市民が鑑賞しました。感想文も多数寄せられました。



高校生が描いた原爆の絵展

被爆の実相を知り
平和を考える



歌声でスタート。「長崎の鐘」や「あの日の授業…新しい憲法のはなし」など心に響く歌声でした。

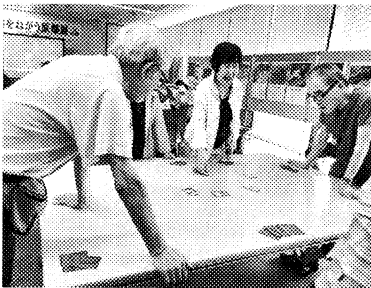
23・24日には「原爆の実相を深く知る」イベントを開催し、2日間で130人が参加しました。

「被爆体験のお話と交流」では、春日部市在住で、広島、長崎で被爆された2人

と、「しらさぎ会」(埼玉被爆者の会)の方、親戚が被爆された方などが当時の体験を語り、「戦争だけではだめ」と強調しました。

被爆の実相を知るためにいくつもの映像が映し出されました。「地獄なんて生易しいものではない(中沢啓二さんの体験)」、「二重被爆者のひ孫の高校生が遺志を継ぎ伝える」、「ヒロシマ・ナガサキ核戦争のもたらすもの」などが上映されました。

子どもや若者対象に、「平和いろはカルタ」、絵



「平和カルタ」
90歳・89歳の方の優勝

本・紙芝居の発表、「井上ひさしの子どものに伝える日本国憲法」等も好評でした。24日には、岩谷一弘市長が訪れ、「次の世代に平和をどう伝えるかが大事」と述べました。

また、吉田稔議員、松本浩一議員、卯月武彦議員、角田たえ子議員が参加しました。

高校生が描いた原爆の絵を鑑賞して

子育て中の女性は、「昨年とは違う絵の展示で、何と云っていいのか、言葉を失ってしまう絵や証言がありました。今の世の中、この被害を知ったら、戦争したり、核兵器をもつことなんて考えられないはずなのに。」と、平和の大切さを訴えていました。

休日当番医

市立医療センター Tel 735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

9月6日(内科系) 守田内科医院: 南2-6-24 ☎737-6300 (小児科系) 浜崎医院

備後西3-8-57 ☎745-6000 (外科系) 桜井整形外科: 増富96-3 ☎761-6629

9月13日(内科系) 藤通り大和田内科クリニック: 中央2-17-10昭和ビル2階 ☎760-2220

(小児科系) 安達医院: 栄町3-287 ☎761-6398 (外科系) 分娩館医院: 備後西5-4-28 ☎739-3883